

エネルギーの全体最適化を実現するクラウド型 T-Step EMS サービス

■羽鳥 桂太
Keita Hatori

1 はじめに

東光高岳は、エコ、Web やデマンドエースなどのエネルギー計測ツールを市場に提供し、現場サイドでのデマンド監視や EMS を推進してきたが、この度、クラウド EMS を構築し、インターネットによる省エネ支援サービスの提供を開始した。現場側に高価な EMS 設置が不要となり、本社などから、複数拠点の一括したエネルギー管理が可能となる点など、お客さまメリットが多い本サービスについて説明する。

2 特長

現場サイドでのデマンド監視や EMS は、個々の拠点(施設)ごとに改善対策できるが、複数の建物を比較して検討することが難しい。

T-Step EMS サービスを導入し、複数の建物を同時に管理することで、拠点ごとの改善レベルを底上げし、全体最適化を図ることができる。

3 システム概要

お客さま施設側には、ネットワークコントローラとして、東光高岳製エコ、Web IV を設置し、電気・ガス・水道・温度などの計測やデマンド監視を実施する。

各拠点のデータをクラウドサーバで集約し、本社で拠点全体のエネルギー消費把握や、施設間のエネルギー使用状況比較、データ分析による節電効果の把握が可能になるほか、遠方からの省エネ制御が可能となる。

4 補助金対応

東光高岳は、一般社団法人環境共創イニシアチブが主催する「平成 28 年度エネルギー使用合理化等事業者支援補助金」に係るエネマネ事業者登録の公募に参加し、エネマネ事業者の一つとして採択された。

T-Step EMS サービスは、補助金申請に必要な EMS 機能要件を満たしている。

羽鳥 桂太

エネルギーソリューション事業本部
ソリューション営業部 エネルギーコンサルグループ 所属

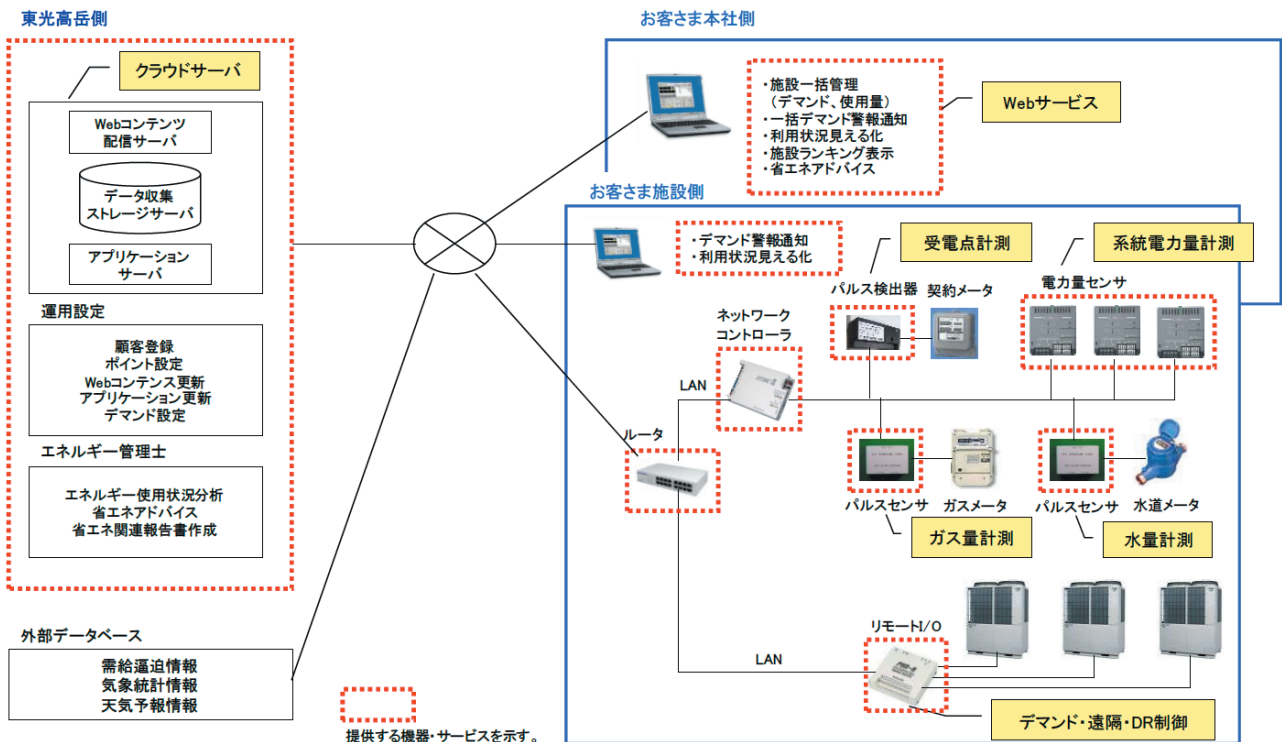


図 1 システム構成図